

※政策共創プラットフォーム『PoliPoli Gov』による市民からの意見募集

テーマ：中学生の新たなスポーツ・文化芸術活動「姫カツ」にどんなことを期待しますか？

コメント募集期間：令和 7 年 2 月 3 日～令和 7 年 3 月 9 日

コメント数（3 月 9 日時点）：213

ユニークアカウント数（3 月 9 日時点）：170

総いいね数（3 月 17 日 17 時点）：239

<姫路市との関わり>

姫路市内に居住	姫路市外に居住	計
198	15	213



<コメント要約と対応>

1. 移動の負担

活動場所が遠いと、子どもも親も移動に苦勞し、送迎の負担が増える。共働き家庭や車がない家庭にとっては特に困難。

【対応】

生徒の移動や保護者送迎による負担を軽減するためにも、姫カツクラブは、受入れ対象とするブロックを決めて、できるだけ各種目で活動場所に偏りがないように、姫カツ運営事務局（姫路市教育委員会）が団体や指導者の募集の際に活動場所や受入れ対象を調整します。

そのためにも多くの登録団体や指導者が参画いただけるように、関係団体や地域の方にも協力をいただきたいと考えております。

2. 費用負担

姫カツに移行すると、追加の保険料や交通費などが必要になる。家庭によっては経済的な負担が増すため、参加が難しくなる可能性がある。

【対応】

学校部活動とは異なり、指導者謝金やスポーツ安全保険料など、活動の維持運営に必要な経費は、保護者の方にご負担をいただくことへのご理解をお願いします。しかし、主に中学校施設や用具を使用することで、参加者の負担軽減に努めます。月参加費や各活動への補助等については、国の動向も踏まえながら、公費による支援ができるような制度設計を検討していきます。

3. 地域格差

都市部に活動が集中すると、遠方の子どもたちが参加しにくくなる。過疎地や離島からの参加には特別な優遇や支援が必要。

【対応】

姫カックラブは、受入れ対象とするブロックを決めて、できるだけ各種目で活動場所に偏りがないようにすることをめざします。山間部や島しょ部地域の学校の地域展開のあり方については、学校や地域と協議をしながら対応すること必要であると考えています。

4. 選択肢の多様性

様々なスポーツや文化活動の選択肢を提供し、子どもたちが自分に合った活動を見つけられるようにして欲しい。また、複数の部に所属できるようにすることも提案。

【対応】

学校部活動にある種目を学校の枠をこえて選択できるようになる「姫カックラブ」に加え、姫カックラブ以外の多種多様な活動を登録・周知する「姫カッ連携活動」の展開もめざします。競技志向の活動やレクリエーション・体験型の活動など、様々なニーズに合った活動から、生徒が自由に選択し、複数種目の活動に取り組むことができるようになります。

5. 指導者の質の保証

外部指導者の教育や指導方法についての懸念がある。体罰や暴言などの問題が起こらないように、適切な人選と教育が必要。

【対応】

姫カックラブの登録団体や指導者の募集の際には、活動ガイドラインや認定要件を定めています。姫カックラブの指導者には、指導者資格（日本スポーツ協会や各競技団体が定めるもの等）の保有、または、中学生の活動にあたって留意すべき事項、安全管理に関すること、熱中症予防、ハラスメント防止等に関する研修を市が定めて受けていただく予定です。

6. 安全確保

移動中の安全や、活動場所での事故やケガへの対応が重要。交通手段や送迎バスの提供を求める声が多い。

【対応】

移動については、現地集合・現地解散になります。会場までの移動は、原則、徒歩、自転車、公共交通機関を利用し、移動中の事故については、スポーツ安全保険が適用されます。

送迎や移動による時間的・経済的な負担を軽減するためにも、姫カックラブは、受入れ対象とするブロックを決めて、できるだけ各種目で活動場所に偏りがないようにすることをめざします。

安全管理については、指導者研修や姫カッ運営事務局と実施団体との連携体制を整えます。

また、旧夢前町地域を対象とした姫カッ実証事業（卓球・合同練習型）を実施し、スクールバスの活用による移動手段確保に向けた課題検証を行っています。

7. 学校との連携

学校の部活動と姫カツの役割分担や連携方法についての具体的な説明が必要。特に、移行期間中の対応や差異についての懸念がある。

【対応】

地域展開後も学校と地域（姫カツクラブ）とが連携や情報共有ができる体制を構築します。

姫路市は、指導者・生徒の混乱を招くことがないように平日・休日同時に地域展開を行わず、まずは休日から地域展開を行うことで学校部活動での活動機会を維持しながら、地域クラブの指導者確保と学校部活動との連携に努めたいと考えています。

8. 学校教育活動の一環としての部活動

部活動は教育の一環として重要であり、教師と生徒の関係構築や信頼関係の形成に寄与している。その価値を再評価して欲しい。

【対応】

姫カツは、学校部活動の教育的意義や役割を継承・発展させ、学校と地域との連携により、新たな価値を創出し、子どもたちに豊かで幅広い活動機会を保障することをめざします。

また、スポーツや文化芸術活動の指導を希望する教職員は、姫カツクラブの指導者として、兼職兼業の申請を行い参画していただきます。